

常任委員会の視察報告

◆総務委員会（7月25～27日）

視察市／札幌市・岩見沢市・小樽市
札幌市と岩見沢市の交通安全対策と協働のまちづくりを調査しました。交通安全の啓発では、さまざまな事業が展開され、特に岩見沢市では特別推進地区を指定し補助金を交付するなど、積極的な支援をされました。協働のまちづくりは、両市とも条例整備を視野に入れた市民自治推進のプランによる先進的な取り組みをされていました。

また、小樽市の男女共同参画事業では、あらゆる分野での男女共同参画の実現に向け、意識づくりを積極的に推進されていました。



総務委員会視察風景（小樽市）

◆建設水道委員会（7月4～6日）

視察市／横手市・盛岡市
横手市の生活道路整備支援事業など3件および盛岡市の交通渋滞対策（オムニバスタウン計画）を調査しました。

オムニバスタウン計画は、ゾーンバスシステムと言われており、中心部に向かう幹線道路と住宅内を回る支線道路のバス交通を分け、途中にミニバスターミナルを設けて中継するもので、バスターミナルでは待ち合い室を設置、バス利用者も増えるなど、参考になる取り組みでした。



建設水道委員会視察風景（盛岡市）

◆民生福祉委員会（7月25～27日）

視察市／泉大津市・秋田市
泉大津市の「児童虐待防止ネットワーク」は、全国の自治体の中でもいち早く立ち上げられたネットワークで、児童にかかわる各機関で構成され、通報・相談・援助に至るプロセスが明確になっています。成果として虐待への早期対応が可能となり、解決への大きな力になっていました。

秋田市では、地域福祉計画、次世代育成支援行動計画を調査しました。その中で、在宅している保護者の孤立感を改善するためのサービスを提供する「在宅子育てサポート事業」は注目すべき施策でした。

◆文教経済委員会（7月25～27日）

視察市／仙台市・宇都宮市・世田谷区
仙台市のごみの減量とリサイクル、宇都宮市の学校給食の地産地消の取り組みと「街の先生」活動事業、世田谷区の若年者の就労支援策を調査しました。

仙台市では、「100万人のごみの減量大作戦」キャンペーンや、市民啓発キャラクター「ワケルくん」活用で、ごみに対する市民の関心が高まったこと、また、宇都宮市では、生産者などと連携し、地産地消の教育を行うことで、子どもの食育を充実させるなど、特徴的な取り組みが行われていました。

編集後記

今回の9月議会での代表質問は、協働のまちづくり、来年4月からスタートする指定管理者制度やアスベスト対策について質問が集中しました。

編集委員会も今回、議会たより発行の先進市である宇都宮市を視察し、その取り組み方や編集内容など大変参考になりました。私たち編集委員も、今後さらに親しまれる議会たより作成に向けて取り組んでまいります。皆さまからのご意見をお待ちしています。（高橋）

